

『皮膚・排泄ケア研修』

研修会実施報告

日時 : 平成30年 12月 1日 8:45~12:30

対象者 : 25名

参加者数 : 25名

目的 : がん診断期から終末期にわたり皮膚や排泄に関するケアを学び実践に活かすことができる

<講師の紹介>

皮膚・排泄ケア認定看護師 主査

2011年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得され、褥瘡や化学療法、放射線治療の皮膚障害などケアの相談、スタッフへの指導など幅広くご活躍されています。



<内容>



今回の研修では皮膚の構造などの基本的なものからはじまり化学療法や放射線治療による皮膚障害を中心に行われました。化学療法の皮膚障害では皮膚の清潔から保湿の仕方、口腔ケアの方法などを学び、実際に起こった事例の紹介や発生リスク、軟膏のぬり方などを学びました。苦痛によって体位変換を拒否する終末期患者に対して体位の工夫による除圧やマットの選択など褥瘡発生に影響する身体的・精神的症状のアセスメントとマネジメントの必要性や倫理的視点をもとにした目標設定について学び、外来、病棟を問わず実践できる内容の研修であり、今後各

部署において研修の内容が伝達されケアの向上につながることを期待したい。